

## 合格体験記（平成25年度卒業生）

名古屋大学（工学部－化学・生物工） 進学  
立命館大学（生命科学部－応用化学） 合格  
明治大学（理工－応用化学） 合格  
理系男子生徒

受験勉強をするにあたって、大事だと思ったことを書いていきたいと思います。

まず、大学受験をするにあたって皆さんの目標は、模試でA判定をとることでも、高い偏差値をとることでもありません。「第一志望に合格すること」です。当たり前だと思うかもしれませんが、このことを勉強の際に頭に置いておいてください。そして、この目標を達成するためにも、第一志望の大学を遅くとも夏休みの模試までには決めておいてください。

次に、受験勉強をいつ始めるか、ですが、部活を引退したらすぐに始めてください。早くやって損なことはありません。ただ、最初に飛ばしすぎると後が続かないので、無理せずにやっていってください。

次に、ある程度の勉強の指針について書いていきたいと思います。

～8月まで この期間はとにかく基礎（公式や単語など）を徹底してください。すでに習っている部分については定期テストのときにできる宿題のレベルまでは問題なく解けるようにしておきましょう。まだ習っていない部分についても、この期間に参考書などで一通り読んでおいてください。完全に理解する必要はなく、あの單元にはこんな公式があった、程度の理解で十分です。これらをしっかりやっておくとこの後がすごく楽です。

9月～11月前半まで この期間は二次力をつけるための勉強をしてください。この時、一度志望大学の赤本を借りるなどして、赤本の最初に書いてある教科ごとの傾向を読んでみるといいと思います。そうすればその大学の出題傾向や難易度がわかり、力を入れる教科やそうでない教科をはっきりさせることができ、計画が立てやすくなります。

11月後半～センター試験まで この期間はセンター試験の勉強をしてください。具体的には過去問や塾の予想問題集をやると思います。この時大事なのは、時間を計ってやることです。センターは時間との勝負になる教科が多いです。解くスピードを身に付けるためにも、必ず時間を計ってください。

センター試験～二次試験まで この期間は二次試験の過去問をやってください。この時も必ず時間を計ってください。また、第一志望ではない大学についても、受ける大学は少なくとも一年分は過去問をやってください。ぶっつけ本番で臨むとかなりひどい目にあいます。

勉強をするときに大事だと思ったことをいくつか書きたいと思います。

勉強で一番大事なことは量より質だと思います。量も大事ですが、ある程度までいったらやはり質がものをいうと思います。そして、勉強の質とは即ち集中力だと思っています。なので、集中力が切れた（ほかのことを考えたり、眠くなってきたりする）ときには、一度休憩してください。それでも集中できないときはいっそのことその日はそれ以上勉強しないというのもありだと思います。無理をせず、質の高い勉強を毎日続けることが大切です。

また、勉強の効率を高くすることも大事です。効率を上げる手っ取り早い方法は、苦手な教科を勉強することだと思っています。苦手ということは、逆に考えるとその分のびしろがあるということです。苦手を後回しにせず早めにつぶしておきましょう！

最後に、受験勉強のときには、自分を信じてください。「自分は絶対に合格する」という強い気持ちを持って、最後まであきらめずに頑張ってください。